

平成30年(2018)8月30日

織豊期城郭研究会 2018年度 京都研究集会のご案内

1. 研究集会名称 織豊期城郭研究会 2018年度京都研究集会

2. 主 催 織豊期城郭研究会

3. 日 程

① 研究集会

【開催日時】 9月8日(土) 13時00分～16時45分(12時開場・受付開始)
9日(日) 10時30分～15時40分(10時開場・受付開始)

【開催場所】 京都産業大学むすびわざ館 3階3-A教室

京都市下京区中堂寺命婦町1-10

JR丹波口駅 徒歩4分/阪急大宮駅 徒歩7分/京福 四條大宮駅 徒歩7分

むすびわざ館には駐車場はございません。お車でお越しの際は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

【参加費】 資料代として6,000円を予定。800頁超え「全国織豊期城郭瓦基準資料集成」付き。

② 情報交換会

【開催日時】 9月8日(土) 18時00分開始

【開催場所】 The宴会 創作和食 展望閣 京都駅前店

京都市下京区真苧屋町197 ブークガニビル5F

烏丸七条北東角。京都タワーの対面の道を七条方面に約100m。すき家の入ったビル5F。地下鉄烏丸線 京都駅 徒歩2分/JR 京都駅 徒歩3分/近鉄京都線 京都駅 徒歩5分/京阪本線 七条駅 徒歩6分

【参加費】 一般5,000円・学生3,500円を予定

(要申込、先着順。社会人大学院生は一般料金。定員となり次第、締め切る可能性あり)

【開催テーマ】 続 織豊期城郭瓦研究の新視点

【開催日程】 ※報告タイトルや順番などは変更になる場合もあります。

9月8日(土)

12:00～ 開 場・受付開始

13:00～13:05 開催地あるいは代表挨拶

13:05～13:10 趣旨説明(事務局)

13:10～14:00 報 告①「京都における織豊期の造瓦の様相—京都市内を中心に—」
鈴木久史 氏(京都市文化財保護課)

14:00～14:50 報 告②「大和の城郭瓦の様相」
岡田雅彦 氏(奈良県教育委員会)

14:50～15:00 < 休 憩 >

15:00～15:50 報 告③「播磨の城郭瓦の様相—播磨系あるいは姫路系瓦工人の
ふるさと「播磨国」における城館瓦の観察から—」
山崎敏昭 氏(三田市教育委員会)

15:50～16:40 報 告④「九州地方の城郭瓦の様相
—熊本城出土紀年銘瓦の集成を中心に—」
美濃口紀子 氏(熊本城調査研究センター)

16:40~16:45 事務連絡(事務局)

9月9日(日)

10:00~ 開場・受付開始

10:35~10:40 事務連絡(事務局)

10:40~11:30 報告⑤「山陰地域の城郭瓦について」

花谷 浩氏(出雲弥生の森博物館)

11:30~12:20 報告⑥「山陽・四国地方の城郭瓦の様相」

乗岡 実氏(岡山市教育委員会)

12:20~13:50 < 昼食・休憩 >

13:50~15:30 シンポジウム「織豊期城郭瓦研究の新視点」

15:30~15:40 閉会挨拶および事務連絡(事務局)

5. 申込方法(参加には申し込みが必要です。)

①郵便番号・②住所・③氏名(ふりがな)・④所属(勤務先・研究会等)・⑤Eメールアドレス・⑥電話番号(なるべく携帯電話)・⑦研究集会・情報交換会の出欠(学生の方はその旨記載)・⑧図書交換書籍の有無(有の場合その詳細も)・⑨瓦資料の持ち込みの有無(希望があれば会場内で資料実見ができるような場所を準備予定。シンポジウム開始前に資料解説をお願いするかもしれません。)をお知らせ下さい。

・申込みは、専用メールアドレス<shokuhoujoken@gmail.com>まで送信下さい。

申込み〆切 平成30年9月5日(水)22時

6. その他注意事項

※情報交換会は定員になり次第締め切ります。

※研究集会会場での飲食は禁止です。研究集会当日に昼食ご持参の方へは昼食会場を指定します。

※事務局による弁当手配等はいませんので各自でお願いします。

※図書交換書籍が有の場合は、搬入方法等を8月末頃にメールにてお伝えする予定です。

※申込受付後に事務局からの返信等は原則ございませんので御了承ください。最近、この記載があるにも拘らず、返信を求めるメールが増えております。有志による限られた人数で研究会運営を行っておりますので、事務手続きの簡略化にご協力ください。なお、万が一申込手続きができていない場合でも、研究集会には申込なしでもご参加いただけますのでご安心ください。情報交換会についてはこの限りではありません。

※情報交換会をキャンセルされる場合は、必ず9月6日(木)22時までに事務局までメール等にて連絡してください。連絡なく欠席された場合は、後日費用を全額請求いたしますので、あらかじめ御了承下さい。

※研究集会の内容につきましては、専門的である旨もあらかじめご了承いただきたく存じます。

上記の注意事項等を十分にご確認いただき、ご賛同の上、お申し込みいただきますようお願い申し上げます。近年、研究会運営上の事務関連で理不尽なクレームが複数寄せられており、円滑な会運営に支障をきたしております。ご参加いただく皆さまにおかれましては、有志による民間研究会運営の主旨をご理解いただきますようお願いいたします。本研究会は普及・啓発活動を主目的としているのではなく、研究活動を主目的としているということをご理解ください。

続 織豊期城郭瓦研究の新視点

織豊期城郭研究会は 90 年代を中心に活動した後しばらく休会しておりましたが、平成 23 年（2011）9 月より活動を再開しております。活動再開後、『織豊系城郭の支城』、『織豊系城郭の陣城』、『織豊系城郭の出現と成立前夜』、『織豊期城郭の石切場』、『構築技術からみた織豊系城郭の石垣の成立』、『織豊系城郭の石垣上礎石建物』、昨年度は『織豊期城郭瓦研究の新視点』をテーマに開催し、盛況の内に研究集会を終えることが出来ました。

これらのテーマは、90 年代の研究集会で検討を進めてきた織豊系城郭の特質である石垣・瓦・礎石建物の三点セットに対して、再開研究会では三点セットが揃わない城郭としての支城・陣城も採り上げ、織豊系城郭の多様性を把握することを目的としました。また、会発足時からおよそ 20 年が経過した今、石垣・礎石建物・瓦を有する織豊系城郭の新資料が増加したことをうけての再整理と共通認識の確保、今後の調査・研究における新視点を模索する時期に来ていると認識しています。

そこで本年度の京都研究集会では、90 年代の本研究会で真っ先に研究テーマとして取り組んだ瓦に再度着目し、2013 年度高槻研究集会での研究史の振り返りを踏まえた上での昨年度甲賀研究集会の続編として、今後の織豊期城郭瓦研究のための新視点を提示したいと思います。同時に今後の織豊期城郭瓦研究の基礎資料となるように全国規模での瓦基準資料集成を行い、その成果も踏まえた上での織豊期城郭瓦研究の進展に努めることができると考えております。甲賀研究集会に引き続きまして二か年目の瓦研究にお付き合いいただければと思います。

今回の研究集会は京都産業大学の鈴木久男先生・村上忠喜先生、京都市文化財保護課の有志の方々をはじめ、瓦資料集成作業に関わっていただいた全国の方々から多大なるご協力をいただいております。盛大で実りのある会にたく存じますので、みなさま方のご参加をお待ちしております。

平成 30 年 8 月 30 日

織豊期城郭研究会事務局